-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

国立国際医療センター国際感染症センターでは、本センターで保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究を実施しています。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。対象者ご本人が研究参加に関しての判断ができない状態、未成年者の場合には、代諾者の方（ご親族等）、保護者の方からの申し出についても受け付けております。参加をされない場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 多項目遺伝子検査において亜型不明と判定されるインフルエンザ A についての探索的検討

[研究対象者] 2022 年 7 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日に採取した鼻咽頭拭い液を用いて FilmArray 呼吸器感染症パネル 2.1 でインフルエンザ A が検出された方

[利用する検体・診療情報等の項目と取得方法]

検体：鼻咽頭ぬぐい液

診療で検査を行った後に余ったものを利用し、一部を遺伝子検査等による追加の解析を行います。

診療情報等：年齢、性別、採取日、抗ウイルス薬の投与歴

カルテや微生物検査情報から上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的] （遺伝子解析研究： 無 ）

検体の残余を用いて希釈をおこなってインフルエンザウイルス A の遺伝子検査などの追加解析を行います。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2027年9月30日までの間

[利益相反について] 研究全体において生じる利益相反及び研究者個人の利益相反は、JIHS利益相反マネジメント委員会に報告し、その委員会の指示を受けて適切に管理します。

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する検体や診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構　理事長　國土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構　国際感染症センター　医師　山元佳

研究内容の問合せ担当者：国立健康危機管理研究機構　国際感染症センター　医師　山元佳

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9 時～16 時）

作成日：2026年6月30日　　第1.0版